

朝来市 議会だより



第90号

令和6年
3月定例会

予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告
／研修会

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（6月定例会の予定）

わんぱく教室 山の仕事を体験!!
(さのう高原)

前年度比
11.5%
増

5千万円成立

3月定例会が、2月29日から3月28日まで29日間の会期で開かれ、条例の制定1件、条例の一部改正14件、令和6年度予算10件、補正予算4件、人事案件などが提案されました。

新年度予算及び補正予算については予算決算特別委員会、条例制定等についてはそれぞれ所管の委員会で審査を行いました。

令和6年度の当初予算は、過去3か年にわたり実践してきた重点施策の更なる深化と加速化を図り、より広くより深く市民生活に浸透させるとともに、先送りできない諸課題に対し朝来市の将来を掛け剛毅果断に挑戦する「幸せと暮らしを守るため未来に挑戦する予算」として編成されました。

予算決算特別委員会で審査し、本会議において、全会一致で原案のとおり可決しました。

新年度予算に関する主な質疑

問 生野庁舎立て替えに当たって、仮庁舎を建設する計画。取

壊し予定の生野老人福祉センターを仮庁舎とする案もあると思うが、比較検討はされたのか。
答 仮設の生野庁舎を設置する案のほうで、工期で約5か月短縮、費用で約400万円低いという比較検討結果であった。



▲新設される生野庁舎（イメージ）

問 高齢者の保健事業・介護予防一体的事業の通いの場合は、市内に何か所展開されているのか。

答 令和5年度からスタートした事業であり、市内の30地区で、いきいき百歳体操や、低栄養の改善・骨折予防に関する学習会等を行っている。

問 ふるさと寄附金事業について

て、高額寄附者はどれくらいおられるのか。また、人気の高い返礼品やカテゴリーを分析し、その充実と先読みも必要となる。本市ではどんな商品が主流で、その寄附額はどれくらいか。
答 50万円以上の返礼品が11件であった。但馬牛、黒大豆等が人気であり、上位10品で約2億円の寄附が集まっている状況。

問 カーボンオフセット推進事業について、販路を金融機関にまで拡大したことは評価。さらに多方面に充実強化の取組を。
答 まずは新規のクレジットの取得を行い、その後、市外企業等に働きかけていく。

問 令和7年には戦後80年となる。平和の語り部活動の検討を。
答 語り部の高齢化が進む中、どのように若い世代に継承していくかが懸念されている。国の動向を注視しながら対応していく。

問 不登校児童生徒支援員配置事業について、朝来市の場合は、別途、適応指導教室である「すまいるルーム」がある。どちらもうまく機能させるため、早急に連携や調整の協議を。
答 適応指導教室があることを

て、高額寄附者はどれくらいおられるのか。また、人気の高い返礼品やカテゴリーを分析し、その充実と先読みも必要となる。本市ではどんな商品が主流で、その寄附額はどれくらいか。
答 50万円以上の返礼品が11件であった。但馬牛、黒大豆等が人気であり、上位10品で約2億円の寄附が集まっている状況。

令和6年度 一般会計予算217億

予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告
研修会

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（6月定例会の予定）

前提に、県の指導により、全ての学校に校内教育支援センターを設置する。適応指導教室、学校、関係機関の連携等は行ってきたため、不登校支援員もその輪の中に入れ、より連携を図りながら、子どもたちの将来の社会的自立を目指した関わりに取り組んでいきたい。



▲不登校児童生徒への支援の充実（イメージ図）

問 埋蔵文化財センター、設置してからかなりの年数が経っている。但馬が持っている古代の歴史は全国でも誇るべき内容であり、収納している埋蔵物はたくさんある。展示スペースの拡大・充実を検討しては。

答 市内いろいろなところに重要な歴史遺産があり、まち全体がミュージアムというような構想も必要と思う。公共施設再配置の方向性と合わせながら、このまちの身の丈に合った施設を持ち合わせるということと兼ね合わせて考えていかなければならない。

問 有害鳥獣対策事業について、5000万円の予算。状況等について概略の説明を。

答 鹿、猪については、過去からの捕獲、防護柵整備等の対策の蓄積により、生息数が以前より大幅に減少しており、県内でも非常に優良な事例と言われている。熊については、昨年、全国的に被害があり、朝来市でも過去には人身被害も発生しているが、近年については、有害捕獲により殺処分等も行っている。

問 予防接種事業の高齢者肺炎球菌感染症のワクチン接種において、腕が腫れるなどの副作用が出ているようだが、実態把握しているか。また、副作用の正しい理解の周知を実施しているのか。

答 接種後の反応については、かかりつけ医の下で経過観察

ただいている状況。今後、実態把握が市として実施できるのか、十分に状況を精査したい。周知については、医師会の先生方と情報共有させていただき、説明を尽くしていきたい。

問 朝来市の公式LINEに登録すれば、災害時に防災情報も入ると聞いている。防災の観点から登録者数を増やしては。

答 あさご安全安心ネットと朝来市の公式LINE、どちらも防災、災害に有効に活用できる。今後も周知を図り、防災情報の発信を行っていく。

***カーボンオフセット**
日常生活や経済活動においてどうしても排出されてしまう二酸化炭素などの温室効果ガスを、他の場所での温室効果ガス削減・吸収活動で埋め合わせるといえる。



▲朝来市公式 LINE



（予算審議）

予算決算特別委員会審査報告

令和6年度一般会計当初予算に係る予算決算特別委員会の意見を紹介します。



○広報広聴事業

QRコード等の活用により、限られた予算においても広報機能の充実を図りたい。

○デマンド型乗合交通運行事業

交通弱者の目線に立って、進められたい。

○生野庁舎整備事業

仮設庁舎建設等において住民が不便とならないよう十分に配慮し、進められたい。

○あさご安心安全ネット

利用し易く、より多くの方に情報発信ができるよう、朝来市LINE等のアプリの活用も検討されたい。

○屋根付運動施設整備事業

市民の間には様々な意見があることから、市民の意見を十分に聞きながら進められたい。

○日本遺産活用事業(生野支所)

生野書院には古文書等の生涯学習や社会教育に繋がる素晴らしい教材がある。今後、イベント等を通じて、子供たちだけでなく大人の方にも故郷を知ってもらい、シビックプライドの醸成を図る取り組みを検討されたい。

○日本遺産活用事業(朝来支所)

地域自治協議会として連携を図り、取り組まれたい。

○戸籍住民基本台帳事業

近年のデジタル化や情報公開推進の観点から、住民基本台帳の閲覧状況を市ホームページで公表することが市民の利益に繋がると考えられるため、ホームページでの公表を検討されたい。

○社会福祉総務一般管理事業(人権推進課)

平和意識等啓発の取組においては、平和教育を進める上で実践的な取組が必要と考える。戦後80年に向けて、実際に戦争を体験された方による語り等、戦争の悲惨さを語り継いでいくことを、戦没者追悼式事業担当課である社会福祉課と連携しながら進められたい。

○母子保健事業

5歳児健診は特別な配慮が必要な児の早期発見や不登校の対応という面において非常に重要となってくる健診であるため、体制確保に積極的に取り組まれたい。

○電子地域通貨等発行支援事業

事業総額8千5百万円のうちプレミアム分6千万円を除いた事務費は、2千5百万円となっており、事業費に占める割合が大きいと考える。今後、十分に精査し事業に取り組まれたい。

○議会だよりの編集・発行

業者と編集等に関する調整や協議を重ね、ブラッシュアップ

していくことも紙面の内容向上において重要な要素であることから、毎年業者が変更となることを危惧する。これまでのノウハウ等を十分に引継ぎ、より良い議会だよりとなるよう取り組まれたい。また、業者選定にあたっては、市内業者の育成という観点も考慮されたい。

「朝来市議会だより」第89号(令和6年2月5日発行)の記事に誤りがありました。

2ページ左下、賛否の表について、森田龍司議長と西本英輔議員の氏名掲載位置が入れ替わっていました。

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

朝来市デマンド型乗合自動車の運行に関する条例制定

いよいよ試験運行がスタート

朝来市デマンド型乗合自動車を運行するため、所要の条例整備をしようとするもの。

総務常任委員会で審査し、本会議にて修正案が提出され、修正案については賛成多数で、修正部分を除く原案については全会一致で可決しました。

質疑

問 主な利用者は市内にお住まいの交通弱者である高齢者等となるわけだが、一方で、観光客や学校法人の方も公共交通を利用されている。日曜日が運休になるというところで、観光協会及び事業者、学校法人等と話し合い等されているのか。

答 公共交通ということで、観光での利用や市民以外の方の利用も視野に入れている。日曜日の運休については、学校法人と協議を進めている状況である。

問 エリアをまたぐ幹線としてJRやバスがあるが、運行本数が少ない細い幹線になっては意味がない。てこ入れが重要と思うが、どのようにお考えか。

答 デマンドバスは幹線であるJRや路線バスにつなげる事も目的としている。幹線の路線変更については、事業者との協議になるが、共存できる公共交通になるよう十分協議していきたい。



▲試験運行を開始したデマンドバス



(議案審議) 3月4日



(議案審議) 3月28日

議案の修正内容について

市長から議会に、議案(条例の制定・改廃、予算を定めることなど)の提出があった場合、本会議及び常任委員会等で審査し、議決を行います。議案の内容に対し、議員(委員)は必要に応じて議案を修正することができます。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

● 常任委員会での審査

議案を付託された総務常任委員会において、「自宅登録」は、本制度の基本的な事項であるので、これを条例において定め、その手続きについては規則に委任するのが条例と規則との関係において正しいとの理由から、利用者で自宅又はその最寄りの場所で乗降しようとする者は、その最初の予約に先立ち、自宅登録をしなければならないとする内容を追加し修正するよう、委員から修正動議が提出され、修正動議は賛成少数で否決されました。

● 本会議(最終日)での審査

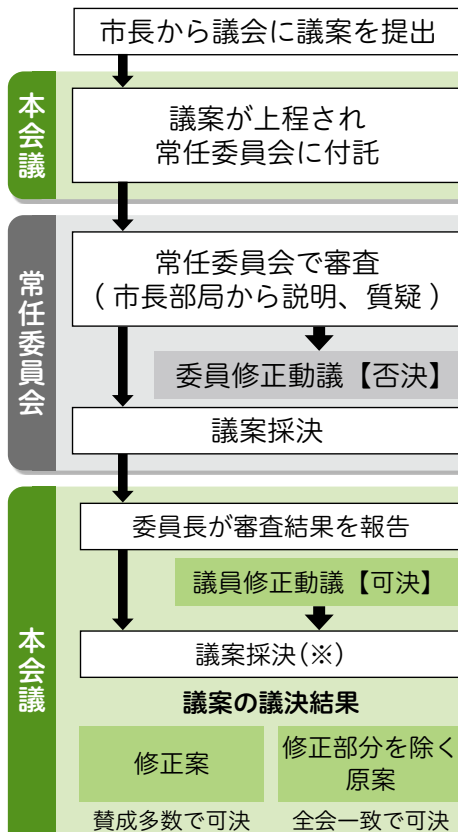
本会議(最終日)では、総務常任委員長から、委員から修正動議が提出されたが賛成少数で否決し、原案(元の内容)を可決した旨が報告されました。

その際、別の議員から、委員会での修正動議と同じ内容の修正動議が提出されました。

その後採決を行った結果、修正動議については賛成多数で可決となり、次に修正部分を除く原案については、全会一致で可決となりました。

※議会の議決に異議がある時は、市長がやり直し(再議)を求めることができます。

議案審査の流れ



令和5年度一般会計補正予算（第9号）

安全で快適な学校施設の整備

現計予算額に9億3,350万円を増額し、国の補正予算に伴う山口小学校屋内運動場長寿命化改良事業及び各小学校校舎大規模改造事業等を行うもの。予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

質疑

問 山口小学校屋内運動場長寿命化改良事業について、備品購入費600万円追加の内容は。

答 大きいところで椅子100脚を追加、机やフロアシート等も更新する。

問 一時避難所や二次避難所、拠点避難所になり得る学校等について、オストメイトトイレの整備が必要と考える。山口小学校については対応すると聞いていたが、今回、枚田小学校でも同様の工事がなされるのか。

答 枚田小学校においても、トイレの洋式化工事に伴ってオストメイト対応整備を進める。

問 このほかの小学校について、既存のトイレの整備等、今後の整備の計画は。

答 洋式化率の低い学校から順次整備し、令和11年度に全ての改修を終える計画。



▲改修される山口小学校体育館



▲このマークがオストメイトトイレの目印です



（令和5年度補正予算）

3月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

議案名	議員名																		
	上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾崎里美	藤原正伸	足立義美	西本英輔	浅田郁雄	藤本邦彦	日下茂	森下恒夫	嵯峨山博	瀧本稔	森田龍司	
議案第67号（令和5年）	朝来市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	朝来市高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	朝来市デマンド型乗合自動車の運行に関する条例制定について（修正案）	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	
	朝来市デマンド型乗合自動車の運行に関する条例制定について（修正部分を除く原案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第5号	朝来市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	朝来市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	朝来市保健センター及び朝来市生野保健センター条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	朝来市公衆便所条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	朝来市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	朝来市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成した議員は○ 反対した議員は× 欠席した議員は欠

※議長には通常、表決権がありません。 *自己に関する案件であり、審議に加わることはできません。

予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告
／研修会

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（6月定例会の予定）

議案名	議員名																		
	上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾崎里美	藤原正伸	足立義美	西本英輔	浅田郁雄	藤本邦彦	日下茂	森下恒夫	嵯峨山博	瀧本稔	森田龍司	
議案第11号	朝来市水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	朝来市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	朝来市立認定こども園条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	朝来市医師確保対策就業支度金貸与条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	朝来市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	朝来市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	朝来市障害者自立支援協議会条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	朝来市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	朝来市辺地総合整備計画を変更することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	朝来市過疎地域持続的発展計画を変更することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	朝来市栃原コミュニティセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和6年度朝来市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和6年度朝来市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和6年度朝来市宅地開発事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	令和6年度朝来市休日診療所特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和6年度朝来市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	令和6年度朝来市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和6年度朝来市財産区特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	令和6年度朝来市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和6年度朝来市工業用水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	令和6年度朝来市下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	令和5年度朝来市一般会計補正予算(第9号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	令和5年度朝来市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	令和5年度朝来市財産区特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	令和5年度朝来市工業用水道事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第1号	朝来市和田山町法道寺財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号	朝来市和田山町杖田財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	朝来市和田山町高田財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	朝来市和田山町和田山財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第5号	朝来市和田山町玉置財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第6号	朝来市教育委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	朝来市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	朝来市議会政治倫理条例第7条第10項の措置を講ずる件について	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
—	緊急質問の件について	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

※

議会閉会中も所管事務調査に取り組んでいます



予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告
研修会

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（6月定例会の予定）



▲委員会での協議の様子

文教民生常任委員会

令和6年1月19日、健康増進に係る事項で所管事務調査を行いました。令和2年4月1日に条例制定し3年が経過する事により第2期健康増進計画、第3期食育推進計画について当局に聞き取り調査をしました。その中で、朝来市は糖尿病罹患率が高い事が判明しました。健康作りは健幸づくり推進課だけではなく他の課にも繋げていく必要があり、今後も継続して調査していきます。



▲委員会での協議の様子

総務常任委員会

朝来市行政組織条例の一部を改正する条例制定（議案第67号）について審査を行いました。閉会中の調査として①公の施設利用料・手数料に関して②自治体DXに関して③体育施設整備事業に関して④地域環境保全事業に関して所管事務調査を行いました。自治体DXについては担当課よりキャッシュレス化の推進や窓口手続きのオンライン化など具体的な取り組みと今後の検討内容について報告を受け、上述事項①②③④について意見交換を行いました。



▲第90号発行についての編集会議の様子

広聴広報常任委員会

議会だより令和6年2月発行の第89号の編集・発行について調査を実施するとともに、令和6年5月発行予定の第90号の編集・発行についても調査を実施いたしました。また、新しくなった朝来市議会ホームページの掲載内容について協議を行いました。その結果、提出議案・予算・各種計画については、現状よりも、より詳細に掲載する必要があるとの判断で一致し、今後掲載方法を見直していくこととなりました。



▲現地調査の様子（和田山浄化センター）

産業建設常任委員会

令和6年2月5日、上下水道事業の維持管理の調査のために、市内の上下水道施設の現地調査を実施しました。
市内の全域に水道施設は60施設、管路延長420km。下水道施設は26処理区、管路延長340kmあります。その管理運営を、水道事業ではAIによる管路劣化診断システムの活用や下水道事業ではストックマネジメントの取り組みなどで、安定的かつ持続的な管理に努めていました。しかし、施設の老朽化等も確認できました。



委員会調査報告／研修会

産業建設常任委員会

「(1)観光基本計画に関する事項」及び「(2)上下水道の運営維持管理に関する事項」

『調査の概要』

(1)朝来市の観光振興の指針となる第3次朝来市観光基本計画について、説明を受けた。
(2)上下水道の運営維持管理について、市内6施設（緑ヶ丘浄水場、栃原浄水場、多々良木浄水場、与布土浄水場、与布土処理場、和田山浄化センター）の現地視察を行い、各施設の運営状況について説明を受けた。

『委員会のまとめ及び意見』

(1)第3次朝来市観光基本計画は、新たな試みも取り入れ工夫された計画であると認識した。計画のターゲット設定を行い、竹田城跡だけでなく市内の観光資源や自然などを活かした体験型のプログラムを検討するなど時代に即した対応が求められる。この計画の実効性をあげていく必要があり、民間を含めた外部人材を活用す

ることにより新たな観光資源の開発に取り組んでいく必要がある。また、KPIの設定については、観光客数の把握方法、市内宿泊人数の設定など実効性を高められる目標設定に努められたい。
(2)上下水道の運営及び維持管理について、少人数の体制でしっかりと施設管理等が行われており、お客様センターによりその他業務も適切に対応されている。
今後、人口減少に伴う水道料金の改定を検討するとともに、水道管等の更新時期に合わせ、大規模災害を見据えた耐震化への取組に努められたい。



▲現地視察の様子（緑ヶ丘浄水場）

朝来市議会 ハラスメント防止研修会

令和6年2月1日、澤田・中上・森弁護士事務所代表弁護士の中上幹雄弁護士を講師に、「職場におけるパワーハラスメントについて」～事例から考える、何が、職場のパワハラなのか～と題した研修会を実施しました。講師からは、「業務上必要な措置を適正にすることをためらってはならないが、方法や程度を考えなければならない」等のお話がありました。



▲研修会受講の様子

但馬3市合同 議会議員政策形成支援セミナー

令和6年2月1日、但馬3市合同議会議員政策形成支援セミナーが養父市やぶ市民交流広場において開催されました。当日は、東京大学大学院法学政治学研究科・法学部教授の金井利之氏による「地域主権時代に求められる議会改革」と題した講演を受講しました。



▲セミナー受講の様子

予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告

一般質問

表紙写真応募者の声／日程（6月定例会の予定）



市政を問う



一般質問(代表・個人)では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い質し、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容と写真は各議員が560字以内にまとめ提出したもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されており、文責は各議員にあります。



代表質問

神姫バスと連携し 交通便利性をはかれ

清風の絆 瀧本 稔



○デマンド型乗合交通の充実

問 JRや路線バスを維持していくことから、デマンド型乗合交通は旧町エリアを越えて運行できないが、オペレーターがタクシーを接続点に手配しておくことはできないか。

答 先進地も視察しており、これから勉強させていただく。

問 神姫バスの神崎病院行路線がいつまで維持されるか不安。

答 ヨーデルの森にきている神姫バスまで、デマンド型乗合交通が行くことはできないか。

答 ダイヤ改正により、神崎病院からヨーデルの森まで来ている便を、生野駅西口まで延伸してもらおうことになった。

○実践的な避難訓練を

問 阪神・淡路、東日本、熊本等の被災地でボランティアをしてきた。大災害が発生した時、倒壊した家屋から救出する、貴重品を取り出すために住民が協力してチェンソーやボール等を使って行動する、炊き出しも必

○ふるさと納税の増大

問 寄付したくなる自治体へなることが、朝来市へのふるさと納税を増大させることになる。

答 魅力的な返礼品の開拓、ホームページのデザイン構築等に取り組む。



▲実証実験に使われた車両



代表質問

災害について

自由倶楽部 尾崎里美



○災害対策について

問 朝来市に災害が発生するとどの様な手順で対策を行うのか。

答 朝来市地域防災計画に基づいた対応となる。

問 防災安全課の職員は足りているのか。

答 一定充足している。また兵庫県危機管理部災害対策課に職員を派遣し災害のスキルアップを実施している。

問 災害時何らかの支援が必要なのはどれ程おられるのか。

答 避難行動要支援者名簿に1214人の方が掲載されている。

問 福祉避難所はどの様になっているのか。

答 市内6法人14施設で最大67名受入体制を整えている。

○能登半島地震

問 現在朝来市としてどの様な救援活動に取り組んでいるのか。

答 避難所支援に1隊2名、家屋被害1次調査に4隊8名、現地支援本部との2次調査、事前



▲珠洲市内の様子

調査等1隊2名、家屋被害2次調査プランニング支援に3隊7名の計19名、延べ122日の職員を派遣し穴水町上下水道応急復旧支援に1隊3名、延べ24日派遣している。

問 行政と市民との温度差について。

答 災害ボランティア受入体制をどう整えていくのか課題になっておりそれが温度差と考える。

問 どの様な長期支援が出来るのか。

答 被災者に向けてのしっかりとした支援を行ってまいりたい。

○施政方針について

問 能登半島地震災害から何を学び、市民の生命財産を守るためにどのような指導をするか。

答 ソフト対策では、地域防災計画の推進、災害時要援護者に対する支援など、訓練や研修等、防災事業を通じて市民一人一人の防災意識を高め、地域防災力の向上を図る取組を進める。

問 朝来市の未来をどのように描き、将来をどのように見据えているか。

答 まちの将来は、人と人がつながり幸せが循環するまち、と総合計画に掲げ、あらゆる場で市民に伝えている。令和6年度の予算は、朝来市の将来像を見据えたものである。

問 9月議会で子育ての駅を紹介したが、これまでどのような研究をしてきたか。

答 組織を再編し市長部局へ新たに、こども未来部を創設した。



代表質問

明るく元気な朝来市を目指して

朝来市創生の会 嵯峨山 博



新たな体制の中で、紹介事例を参考にしながら研究をしていく。

問 公園に健康遊具を設置し、多世代が集える交流の場とし、地域を活性化する考えはないか。

答 公園施設を効果的に活かしていく視点は重要である。多世代が集える公園とするために、健康遊具を設置することはアイデアの一つである。市内に健康遊具を設置した公園は少ないが、市外では近年設置されている事例も多く見受けられる。選択肢の一つとして検討していく。



▲和歌山県有田市の公園を参考に

予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告
／研修会

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（6月定例会の予定）



個人質問

持続可能なまちづくりを

加藤貴之



○小水力発電所と生態系の両立

問 市川上流部の普通河川で小水力発電所の建設計画があり、生態系への影響に懸念がある。開発前に生態系の調査をすべき。

答 オオサンショウウオについては文化財保護の観点から市と専門家が影響を協議している。生き物一般に対しては事業者が自主的に調査をすべきと考える。

問 準用河川の指定は可能か。

答 法令上指定は可能だが、奥地の溪流の指定は慣例上難しい。

問 地球温暖化対策実行計画の策定と合わせ、再生可能エネルギーのゾーニングを行うべき。

答 非常に重要な観点。再生エネルギー普及のために関係者が納得する適地を定めていきたい。

○「稼ぐ地域」を目指すべきか

問 H20「地域協働の指針」に見る地域自治協議会の役割は。

答 市と行政区の事業を補完する役割と、地域の特色を活かして地域経営を行う役割がある。

問 市から各自治協に毎年計

4千万円を配分している包括交付金は持続可能なのか。

答 地域振興基金が財源。現在の残高は19億円。現在のところ将来も継続していく考えだ。

問 一方、自治協決算にみる自主財源割合には大きな開きがある。自治協は自ら稼ぐべきか。稼ぐ地域は何をしているのか。

答 指針では受託事業や特産品開発等での自立を促している。宿泊事業、太陽光発電などで稼ぎ、収益部門を法人化している自治協もある。



▶小水力発電や地域経営の取組事例
(津山市)



個人質問

住み続けたい

元気で美しい朝来市

水田文夫



○大災害に備えて

問 市内避難所に井戸はないとのこと、掘れないか。一方で、市内で井戸がある家庭は800世帯とのこと、災害用協力井戸の設置を募集しては。

答 防災井戸の設置、また災害用協力井戸制度の取組、防災拠点の協力事業者登録制度も含めて調査研究していきたい。

○市の立地を企業誘致に活かせ

問 生産性年齢人口が2050年には半減すると推計されている。労働力不足で、企業に売り込む場合、朝来にどのようなポテンシャルがあるか。

答 物流による地理的な強み、地理的な優位性、また、地震発生リスクが低いこと。

問 そのポテンシャルを生かした企業はどのような企業か。

答 金属製品製造業等、本市に集積している製造業、物流関連産業の企業などが考えられる。

○人口減少対策について

問 地域経済についての対策は。

朝来市の2050年推計人口

	2020年人口 (A)	2050年人口 (B)	(B)/(A) (%)	65歳以上の 割合(%)
朝来市総人口	28,989	17,415	60.1	49.3
年少人口	3,421	1,511	44.2	—
生産年齢人口	15,128	7,318	48.4	—
高齢人口	10,440	8,586	82.2	—

▲国立社会保障・人口問題研究所データから

問 子どもが減っている。教育機関の問題は。

答 地域とともにある学校を実現すべく、朝来を担う人づくりを目指し、小規模校のメリットを生かす方策を学校毎に協議し、学校運営の改善、各学校の特色を生かした取組を行っていく。



個人質問

ポストコロナとSDGs

松井道信



問 第3次朝来市総合計画の見直し、後期基本計画策定や総合計画推進に伴う予算が計上されているが、SDGsとの関係をどのように考えているのか。

答 後期基本計画見直しの際には、総合計画審議会等においてSDGsをどのように推進していくかの視点を持って議論していきたいと考えている。

問 本市の現在の取組状況では、SDGs 未来都市やスーパーシティ構想に手を挙げている近隣自治体と比べると、水をあげられた感じにないか。

答 こうした取組は、まちづくりを進める一つであり、目的ではないと思っている。まちづくりは地域の特性や課題、ニーズに合わせ、市民の声を聞きながら柔軟に対応していくことが大切であり、必ずしも近隣自治体と同様の取組が必要であるとは考えていない。

問 来年いよいよ関西万博が大阪で開催され、地域経済の活性化やビジネス機会の拡大による経済効果が見込まれている。本市は、またとないこの機会を利用し、積極的に売り出していくべきではないのか。

答 本市の現在の施策としては、関西パビリオンへの出店によって、本市独自の観光資源・特産品をPRする予定。また兵庫県が展開する、ひょうごファイルドパビリオンを活用した本市への誘客推進を検討している。



▲SDGsは世界共通の17の目標



個人質問

令和6年度施政方針を問う

足立義美



問 和山駅南北自由通路の概略設計にあたっては、駅北エリアの土地利用計画と一体的に検討すべきと考えている。以前に駅北エリアの都市計画マスタープランが示された記憶しているがどうか。

答 駅北には、JR所有の遊休地があり、この活用を含めた一体的な整備を考えて内部検討はしているが、今は自由通路において解決すべき多くの課題があり、自由通路を優先してJR協議を進めている状況である。

問 朝来医療センター周辺を対象に、都市機能誘導方針に先立ち、企業意向調査が実施されるが、周辺地域の農地区分はどうなっているか。また、朝来市の将来を見据えた土地利用計画の検討はどうか。

答 農業振興地域の農用地に指定している。農業振興地域整備計画の見直しの中で、医療セン

ター周辺の農地について検討を行っていきたい。

問 東河地区の再圃場整備事業が実施されるが、全体の市負担額及び地元負担金はどれ位か。

答 東河地区の再圃場整備事業は、約40haを県営事業として計画し、市の負担は事業費の10%、約1億3千万円となる。地元負担金は、集積・集約率を向上させることによって、促進費として後年に交付されるため、実質負担は、ゼロに近くなる。



▲朝来医療センター周辺の土地活用

予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告
研修会

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（6月定例会の予定）



個人質問

公正な市政を！

吉田俊平



○政治倫理について

問 朝来市議会議員倫理条例第3条3号の意味するところは。

答 条例の解釈は、議会で判断をされるべきもの。介入の用語は、当事者以外の者が入り込むことなどを意味する名詞である。

問 令和5年9月から市ホームページで公募されていた市内生産者登録に係る資料に対する答弁と理解していいか。

答 資料が随意契約手続の表に合致した部分はないという意味。
問 国・地方公共団体の契約制度の概要及び関係法令という資料は、締結の流れを示した資料と解してよいか。

答 契約の流れを示したものの。
問 公告は随意契約の一連の行為の中に入っているという命題は成立するか。

答 随契に公募型見積りがある。
問 過去に学校給食センターの納入で議員が説明会の場に同席した事例が一件でもあるか。
答 給食センターの説明会に出

た事例はない。

問 政治倫理条例の審査や措置は議会の内部規律行為にとどまることを理解しているか。

答 地方自治法の懲罰と倫理条例の対象や違反の規律が異なるものであると認識している。

○生野図書館について

問 図書司書を配置し、本を借りる、本の相談ができる、生涯学習ができる、生野の市民が喜ばれる支所を検討してはどうか。
答 生野の図書コーナーの在り方について検討させて頂きたい。



▶生野図書館が生野図書コーナーに、生野支所には図書館を！



個人質問

住んでよかった朝来市に！

関 綾乃



○能登半島地震への災害支援から考える本市での防災について

問 支援活動を通じ本市にも置き換えて対策せねばならないと感じたことは何か。

答 大規模災害では第一に人命救助に力を注ぐ・住宅の耐震化率や危険箇所の整備率を高める・避難所の開設を急ぐ、また大規模災害時に職員がどれだけ招集できるか把握することも必要だ。避難者生活においては自助・共助による自主的な運営も必要なことから市民一人一人の防災意識や地域防災力の向上を図る取組も必要と感じている。

問 家屋被害認定士の役割は。

答 災害における被害調査の迅速化と統一化を担保し、被災者支援制度の円滑な実施に資するため十分な知識と技術を備え、即時に被害調査に従事・対応する事である。本市では現在89名の職員が兵庫県家屋被害認定士として在職している。

問 本市で同様の災害が発生し

た場合に想定できる課題は。

答 直下地震で予測される震度は最大6強。被害も甚大で迅速な災害応急体制の確立が困難と予想される事から、広域的な連携体制の確保、幹線緊急輸送道路の確保、一般緊急輸送道路の啓開が必要となる。

問 女性も避難所運営について携わるべきと考えるが。
答 避難所の運営は、多様な避難者に対し様々な配慮を必要とする。当然、女性の方も積極的に携わって頂きたい。



▲被災家屋の調査は復興への第一歩！



個人質問

放課後等

デイサービスについて

西本英輔



問 切れ目のない支援を行うには放課後等デイサービス（以下、放デイ）と教育の連携は欠かせない。今以上の情報共有に向けた取組が必要では。

答 子供達の様子の共有は、各校で意識し行っているが、教育活動の理解を深め、それぞれの役割分担を明確にする機会の設定は課題がある。情報共有を実施している例もあるが、困難な実態もあるので、支援員制度なども活用しながら工夫していきたい。

問 YOU・愛センターにて社会福祉協議会（以下、社協）が放デイを運営しているが、老朽化が進んでいる。市の計画によると、機能は維持し他の公共施設への移転を含め検討となっている。どのように進んでいるか。
答 指定管理者の社協とも、今後調整が必要かと思うが、現状、具体的な検討には至っていない。
問 機能を維持したまま移転するのであれば、他の施設の所在

も勘案した上で、社協と協議を進めるべきでは。

答 現状の施設の場所等、地域性考慮することは検討要件の一つと認識している。

問 来年度より、通所申請時に障害者手帳等がなければ医師の診断書が必要となる。その取得に現状では、手帳の取得が目的かつ市民税非課税世帯しか助成対象ではない。改正すべきでは。
答 他の用途に広げるのは現状では難しい。助成要件の緩和については、今後の課題と認識している。



▲ YOU・愛センターの移転に際しては、指定管理者としっかり協議を！



個人質問

令和6年度の

市政運営について

藤原正伸



○新年度施政方針について

問 施政方針の中心にあるべきは最重要課題に取組むこと。本市の最重要課題は人口減少による地域の活力や魅力の低下を防ぐことである。

答 深刻化する人口減少、少子高齢化に対して、子ども・子育てに関する取組や生活基盤である公共交通の確保など、市民の暮らしを守るとともに、未来を見据え、課題を先送りしない考え方で、特に重点的に取り組まなければならないと考えている。

○新年度予算編成方針について

問 市税は、様々な公共サービスを提供し、地域の発展や住民の福祉を支えるための重要な収入源。市民の所得向上や雇用機会の創出など、市税の増収に向けた施策の充実強化を図り、持続可能な財政基盤を築く必要がある。

答 市内事業者の稼ぐ力を強化し、市内経済の持続的な発展に、また農業者の担い手の確保を図

り、儲ける農業の実現に積極的に取り組むことで、まちの稼ぐ力を強化し、市税の増収につなげたい。

○市政運営の考え方について

問 本市の最重要課題への対応では、地域自治協議会（自治協）による地域協働の仕組みをいかに有効に機能させるかが鍵だ。

答 人口減少に対応した地域協働の在り方については、自治協を中心とした、より柔軟で地域性や多様性を重視した補完型、支援型の仕組みが重要である。



▶ 施政方針は市民との信頼関係や協働を築くトリセツ



個人質問

あこバスから

あこタクへの飛躍

横尾正信



問 四月から「デマンド型乗合交通」がスタートする。生野町を皮切りに、来年には和田山でも始まる。自宅で乗降できるこのシステムは、足が弱くなり、バス停まで歩くのが困難な三千人の後期高齢者を対象にしたサービスが目的である。それで良いか。

答 令和四年度を公共交通元年と位置付けて、あこバスから、デマンド型乗合交通への転換を図ってきた。

問 運行台数の配置について。計画では九台の配置。生野町、朝来町で二台ずつ。山東、和田山町で五台。和田山町分はわずか三台しかない。利用者の半分以上を占める和田山町が少なすぎる。

答 アコバスの他にも路線バスの充実も図っていく。当初は五台で運行。

○「観光客などに

開放は誤りだ」

問 足弱の高齢者の移動を救済



▲4月1日生野エリアから運行開始される

するのがこの新しいシステムである。予算の都合でただでさえ台数が足りないのに、これを観光客などにも開放するという計画だ。生野では問題ないかもしれないが、和田山では問題になる。民間タクシーを圧迫するし、肝心の高齢者の利用を阻害する。和田山町での運行までによく検討してほしい。

答 地域振興の観点から、観光利用のほか、仕事や親族や友人の訪問など、市民以外にも利用してもらおうように考えている。



個人質問

朝来市の存続に何が必要か

森下恒夫



○人口減少について

問 社人研より2050年の推計人口が公表され、消滅可能性があるとされているが所見は。

答 人口減少を受け入れて（最低で2万人）、安心して暮らせるまちづくりを目指している。

問 生産年令人口は2020年から半減の7318人と推定されている。所見は。

答 深刻な問題と認識している。

問 生産年令人口の減少は市の経済に直結する。経済を発展させ交付税への依存を減らすことが責務と思うが。

答 行財政改革を行い、将来を見据えた財政運営、市政運営を進める。

問 本市市民の年間給与は399万円との統計がある。県内市町村中34位と大変低い。対策は。

答 企業の技術環境の構築の為にエコノミックガーデニングの推進で雇用確保、所得向上を図る。

問 朝来市の存続には、姫路へ

通勤可能にすることとコンパクトシティ化が必須と思うが。

答 播但線電化は実現性について検討中。コンパクトシティは、デマンドタクシーで遠隔地の交通手段確保に取組んでいる。

○学校教育について

問 小中学校の不登校の実態は。

答 小学校9名、中学校42名。

問 教師不足、時間外勤務は。

答 中学校で5年度2名の未配置があった。6年度の解消に努力中。長時間勤務は多いが、児童生徒に向き合う時間確保が重要であり、業務改善に取組む。



▲消滅か撤退か？



個人質問

XR技術で未来の観光に挑戦

日下 茂



つことも期待できる。

○朝来市内の渓谷調査が必要だ

問 XR技術導入調査費が予算化された。目的は何か。

答 XRの活用で観光客を呼び、更に調査研究を進め、効果的と判断すれば、各分野に導入していきたい。

問 竹田城を日本一の山城と称しているが、観光客の感動と驚きがなければブームは起きない。現状はまるで自分工事現場だ。登城しなくても雲海やかつての天守が見られる高度なVR作品を期待したい。

答 指摘の通りVRで新たな観光を楽しめる。しっかり研究、調査を進めていきたい。

問 安土城、江戸城と天守再建が囁かれている。竹田城の再建は多難だが、VRなら当時の城郭や雲海に浮かぶ山城を年間を通して見られる。VRの擬似体験で、教育にも活用できるが。

答 郷土文化財等を視覚を通して学ぶことで、身近に感じたり愛着を持ち、故郷への誇りを持



▲幻冬舎のVR（仮想現実）竹田城 タイムトリップ日本の名城より

問 市内の渓谷の実態調査で活用と保存の判断資料の作成が必要。「自然芸術の地」と言われる糸井渓谷は、床尾の三滝、不動の滝や生きた化石「昔トンボ」等重要な昆虫の生息地だが渓流釣り客で生態が危機状態。林道は落石等で危険状態。対策と整備が必要でないか。

答 滝も見だし、危険性も確認している。市が管理で、地域と市で対応で対応したい。

広聴会に参加する団体を募集します

皆さんは、市議会に直接伝えたいことはないですか？
私たちは、市民の皆さんの生の声をお聞かせいただきたい！
という思いから、広聴会を開催することとしています。



お申し込み
はこちらから



広聴広報常任委員会では、広聴会を少数で開催し、和やかな雰囲気の中で皆さんとの対話を重ねたいと思っています。
皆さんからのお申し込みをお待ちしています。

○広聴会に参加できるのは？

→市内に所在する5名以上の団体です。

○参加の申し込みはいつ、どこに？

→記載希望日の一か月前までを目途に、議会事務局へ申請書をご提出ください。

○対話のテーマは？

→団体でテーマを決めていただき、申し込みの際にご提出ください。

○開催場所はどこ？

→各地区公民館や会議スペース等、申込団体においてご準備ください。



表紙写真応募者の

声



vol.04

わんぱく教室とは？
代表 井上利之さん

一緒に活動しませんか？
～指導者募集中～

左記のような活動を通じて、わんぱく教室では「ふるさと愛の醸成」や「子ども達の健全育成」さらには、森林保護をはじめとした環境学習の場として開催してきました。

今後も継続した取り組みとなるよう、わんぱく教室では指導者を募集しています！

子ども達と一緒に遊び・活動することが好きな人、山登り・キャンプ・サイクリングといったアウトドアが得意な人など、指導者（ボランティア）として頑張っていただける人を募っています。

興味のある方は事務局（市役所朝来支所 079-677-1165）までご連絡をいただきますよう、お待ちしております。

わんぱく教室は、朝来地域の小学校5・6年生を対象に、子どもたちが自然に親しみながらたくましい体と心を養うことを目的としている教室で、今年で活動43年目を迎えます。

活動内容は、氷ノ山登山に始まり、川での生物観察、生野町魚ヶ滝へのサイクリング、ツリークライミングやスノーケル体験、マラソン距離を歩く、木の除伐体験、しいたけの原木づくりなど、5月から3月まで原則第2土曜日に活動しています。登山や、サイクリングなど、楽しいばかりでなく厳しい活動もありますが、1つの活動を終えるごとに、みなさん一回りたくましくなっています。毎年4月の募集時には定員を超える人気のある教室です。



あなたの写真が表紙に！

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集します。ご応募お待ちしております。



次号 第91号
令和6年8月5日
発行予定

6月5日
〆切



表紙写真応募方法の詳細はこちら

6月定例会の予定

月	火	水	木	金
			5/30	5/31
			本会議	
3	4	5	6	7
			一般質問	一般質問
10	11	12	13	14
一般質問	総務常任委員会	文教民生常任委員会	産業建設常任委員会	
17	18	19	20	21
		予算決算特別委員会		
24	25	26	27	28
本会議				

お問い合わせは
議会事務局 TEL 672-1930

予算審議

予算審議／議案審議

補正予算／賛否の状況

委員会報告／委員会調査報告
研修会

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（6月定例会の予定）